

「2019年6月期(第1回) 旅行市場動向調査」

一般社団法人 日本旅行業協会 (JATA) では、JATA会員各社および中連協会員各社へ調査モニターへの登録を依頼し、登録のあった660社を対象として、四半期ごとに「旅行市場動向調査」を実施しております。今回、6月期の調査がまとまりましたのでお知らせします。

《海外旅行DI》

DI値は3カ月前(1~3月)から+6ポイント高いマイナス2。3カ月後(7~9月)は-16ポイント低下しマイナス18。6カ月後(10~12月)は現況より-17ポイント低いマイナス19。

◆現況はGWの10連休効果と方面別のアジアの上昇により、直近2年で一番良いスコアとなったものの、前回見込みには届かずマイナス圏にとどまった。3カ月後の見通しはGWの反動もあり、低下する見込み。

《国内旅行DI》

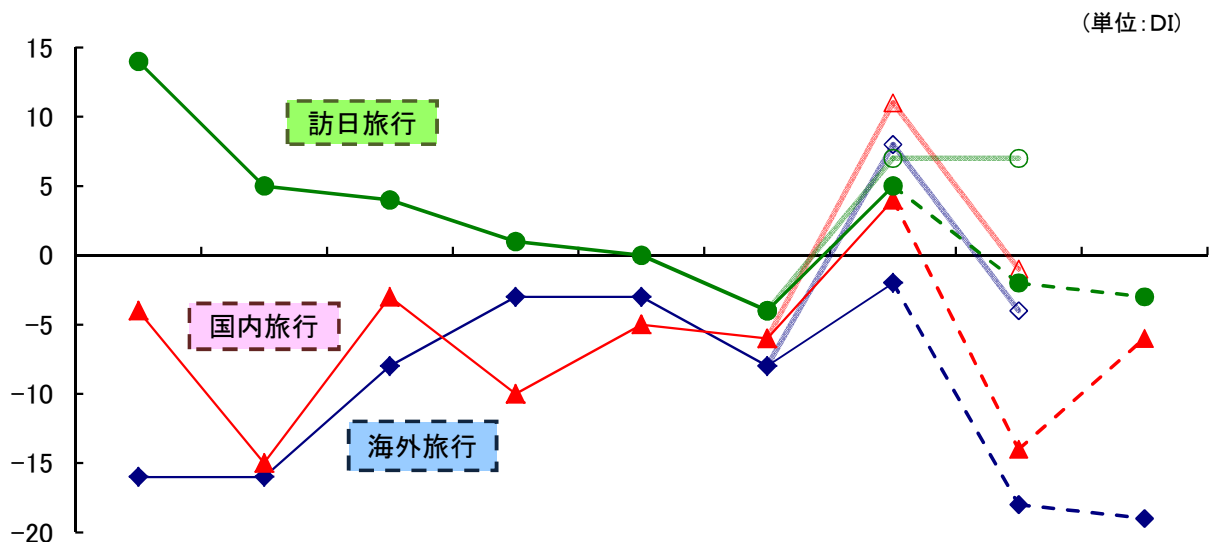
DI値は3カ月前(1~3月)から+10ポイント高いプラス4。3カ月後(7~9月)は-18ポイント低下しマイナス14。6カ月後(10~12月)は現況よりも-10ポイント低いマイナス6。

◆現況はGWの10連休によりDI値は前回から大幅に上昇しプラス圏に。団体旅行が回復し、個人旅行ではシニアが好調。3カ月後はGWの反動で低下するも、6カ月後は前年同時期と同水準に回復する見込み。

《訪日旅行DI》

DI値は3カ月前(1~3月)から+9ポイント高いプラス5。3カ月後(7~9月)は-7ポイント低下しマイナス2。6カ月後(10~12月)は現況よりも-8ポイント低いマイナス3。

◆現況は中国や東南アジアからの旅行者の増加でプラス圏に回復も、3カ月後・6カ月後はマイナス圏に下がる見込み。FITは好調だが、団体・MICEの低迷の影響もあり、業況は緩やかに下降が続く。



	1年半前 (10~12月)	1年3カ月前 (1~3月)	1年前 (4~6月)	9カ月前 (7~9月)	6カ月前 (10~12月)	3カ月前 (1~3月)	現況 (4~6月)	3カ月後 (7~9月)	6カ月後 (10~12月)
海外旅行全般	-16	-16	-8	-3	-3	-8	-2 ※8	-18 ※-4	-19
国内旅行全般	-4	-15	-3	-10	-5	-6	4 ※11	-14 ※-1	-6
訪日旅行全般	14	5	4	1	0	-4	5 ※7	-2 ※7	-3

※2019年3月期調査見通し数値

■旅行市場動向調査について

一般社団法人 日本旅行業協会（JATA）では、JATA会員および中連協会員各社へ調査モニターへの登録を依頼し、会員1416社中、登録のあった660社を対象として、四半期ごとに「旅行市場動向調査」を実施し、その結果を発表しております。

「旅行市場動向調査」は、現況・先行き（3ヵ月後・6ヵ月後）についてのアンケートを実施し、旅行市場の動向を把握することを目的としております。

調査では各質問事項に対し「良い」「普通」「悪い」「取り扱っていない」で評価を求め、回答数から「取り扱っていない」（無回答を含む）の回答を除いたものを母数として各回答のシェアを算出し、「良い」を選んだ割合（%）から「悪い」を選んだ割合（%）を引いて、「D I」（=Diffusion Index ディフュージョン・インデックス）という景気動向指数に加工して発表しています。D I 値の範囲は、全て良い（100）から、全て悪い（-100）の間の評価となります。

◆調査概要

調査地域	： 全国
調査対象	： J A T A 会員各社、中連協会員各社の経営者など
調査方法	： インターネット調査
調査期間	： 2019年5月20日（月）～6月7日（金）
設定数	： 660社
回収数	： 312社
回収率	： 47.3%

◆種別について

「旅行市場動向調査」では、各業況を種別に分析しています。
各種別の取り扱い業務範囲と今回調査での回答件数は下記の表の通りとなっています。

種別	取り扱い業務範囲	社数	比率
第一種旅行業	海外・国内の募集型・受注型企画旅行の企画・実施、海外旅行・国内旅行の手配、及び他社実施の募集型企画旅行の代売を行うことができる。	194社	62.2%
第二種旅行業	国内の募集型企画旅行の企画・実施、海外・国内の受注型企画旅行の企画・実施、海外旅行・国内旅行の手配、及び他社の募集型企画旅行の代売を行うことができる。	49社	15.7%
第三種旅行業	海外・国内の受注型企画旅行の企画・実施、海外旅行・国内旅行の手配、及び他社の募集型企画旅行の代売を行うことができる。また、実施する区域を限定し、旅行代金の支払い時期を制限したうえで国内の募集型企画旅行を行うことができる。	69社	22.1%

この資料についてのお問い合わせは、JATA広報室までお願いします。
なお、本データはJATAホームページ <http://www.jata-net.or.jp> でご覧になれます。
TEL : (03)3592-1244

■海外旅行全般／客数の業況について

GWの10連休により、現況(4~6月)の業況・客数ともに好調だったが、客数DIに比べて総合DIが低かった。
「第1種」はプラス圏に上昇するも、「第2種」「第3種」はマイナス圏での推移となった。

総合

海外旅行全般の業況は3ヵ月前(1~3月)と比べて+6ポイント上昇したが、3ヵ月後(7~9月)の見通しでは大きく低下する見込み。

客数についてはプラス圏の水準だが、3ヵ月後(7~9月)はマイナス圏に低下する見込み。

種別の業況では「第1種」(+12ポイント)は上昇、「第2種」は横ばい、「第3種」(-11ポイント)は低下となり、種別ごとに差がみられた。

現況(4~6月) は団体旅行の「インセンティブ」、方面では「アジア」が好調。

海外旅行全般は3ヵ月前(1~3月)より+6ポイント上昇し、マイナス2。

客数はプラス14。

- ・ゴールデンウィーク特需で4・5月は好調に推移。(第1種)
- ・旅行意欲は引き続き旺盛ではあるものの、財布の紐は固くなっており、旅行単価が低くなっていると推察される。(第1種)
- ・東アジア、東南アジア方面の企画が好調に推移している。(第3種)

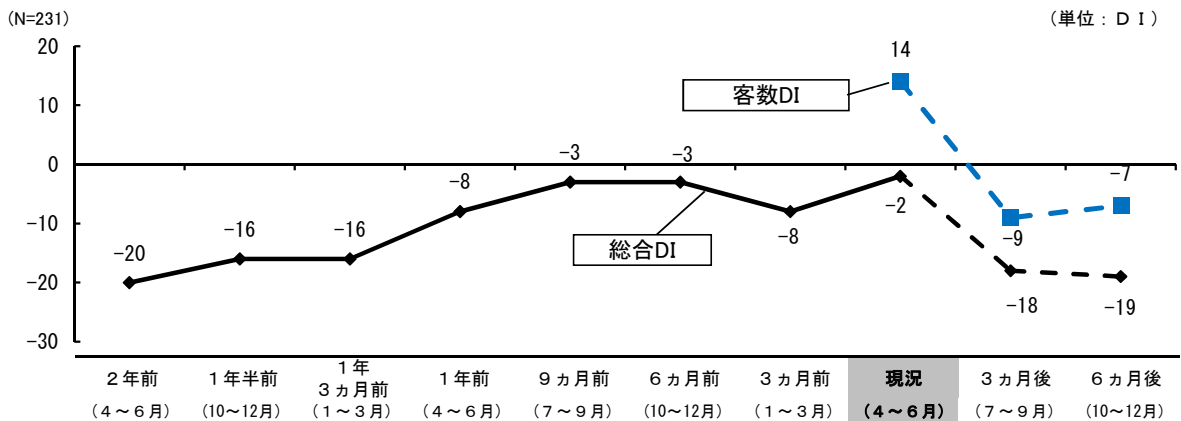
3ヵ月後(7~9月)は世界情勢の不安等から、業務渡航やインセンティブが低下する見込み。個人旅行も夏休み時期にもかかわらずGWの反動からか、需要の落ち込みが予想される。

海外旅行全般の3ヵ月後(7~9月)は-16ポイント低下しマイナス18。6ヵ月後(10~12月)は-1ポイント低下しマイナス19。

客数の3ヵ月後(7~9月)は-23ポイント低下しマイナス9。6ヵ月後(10~12月)は+2ポイント上昇しマイナス7。

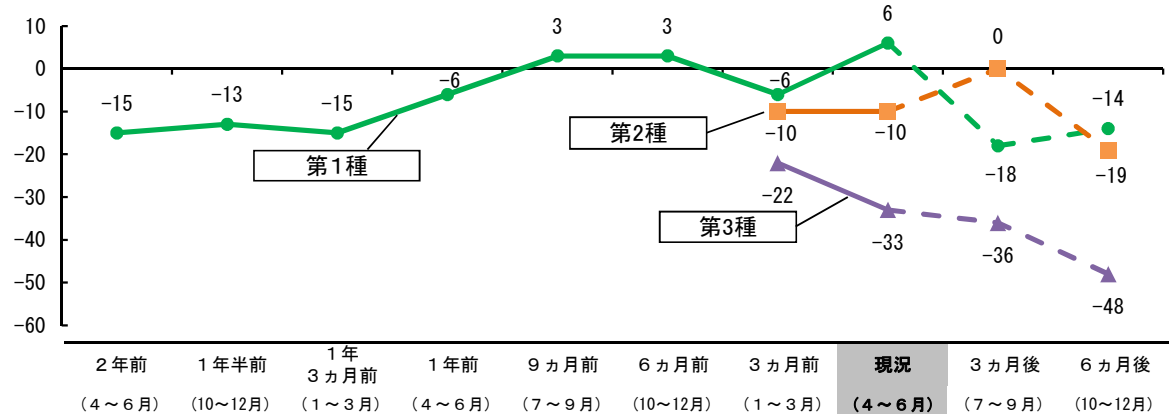
- ・GW10連休は特需要素が強かったが、夏場(7-9月)の先食い需要であった面が強く、7-9月期については弱い可能性が高い。(第1種)
- ・米中貿易摩擦の影響が昨年秋頃より少しずつ出ているように感じられる。但し企業の海外進出の意欲は変わらず旺盛であり今後何らかのイベントリスクが無い限り安定して成長が期待できると考えている。(第1種)
- ・お盆と9月に三連休が2回と、日並びがいいのにもかかわらず、夏休みが動いてこない。(第1種)
- ・個人旅行について、若年層はネット予約、シルバー層は高齢化により、需要が落ち込んできている。(第1種)

海外DI値【総合+客数】



※「客数DI」は、今回調査から新しく聴取

種別総合DI値

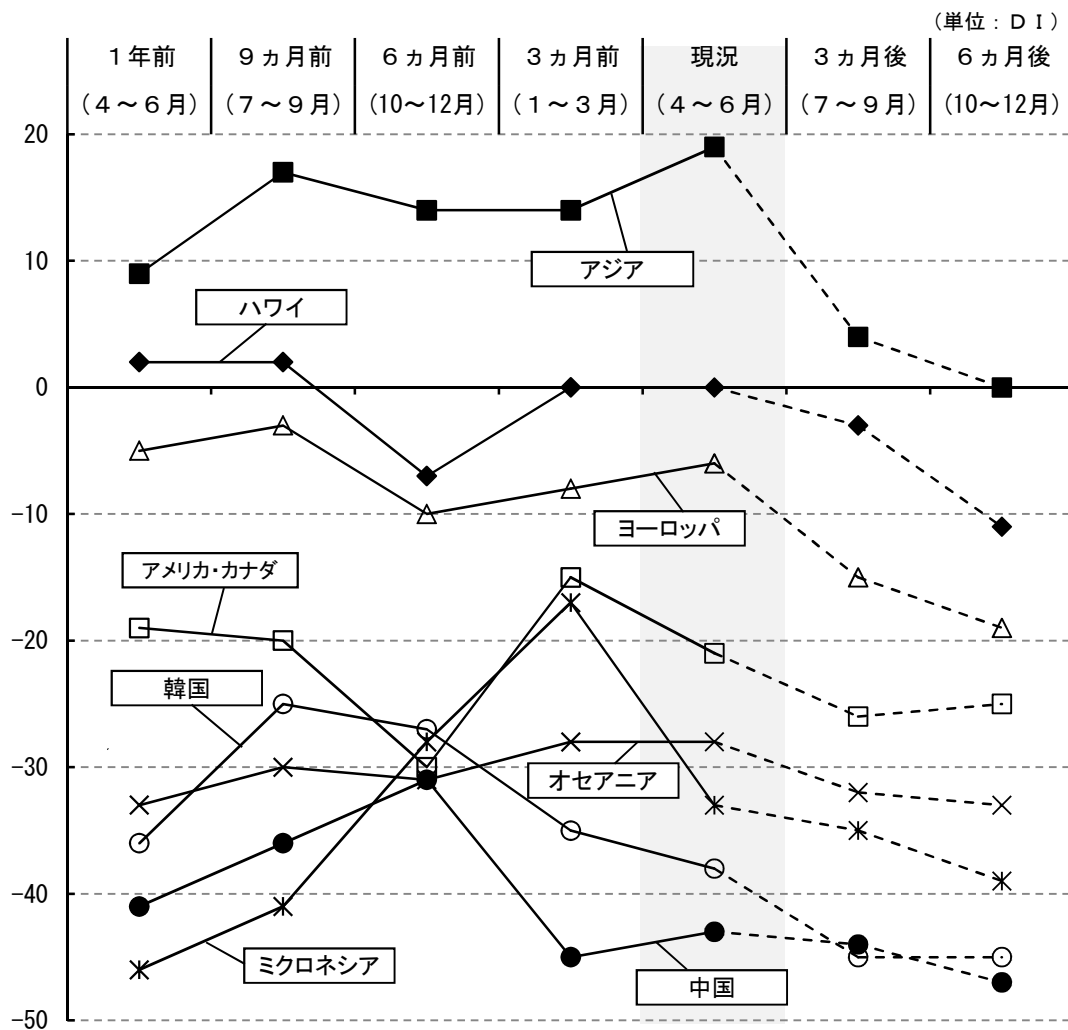


※「第2種」「第3種」は、2019年3月調査から分計したため、以前のデータなし

◆海外旅行の需要動向（方面別）

- ・ 現況は3ヵ月前（1～3月）に比べ、最も上昇したのは「アジア」（+5ポイント）でプラス19。依然として方面別DIで一番高く、前年同時期と比較しても+10ポイント高い。
それ以外の方面については、前年同時期と同程度であった。
- ・ 3ヵ月後（7～9月）は全ての方面で低下。特に「アジア」は-15ポイント低くなる見込み。

N:有効回答数
(N=231)



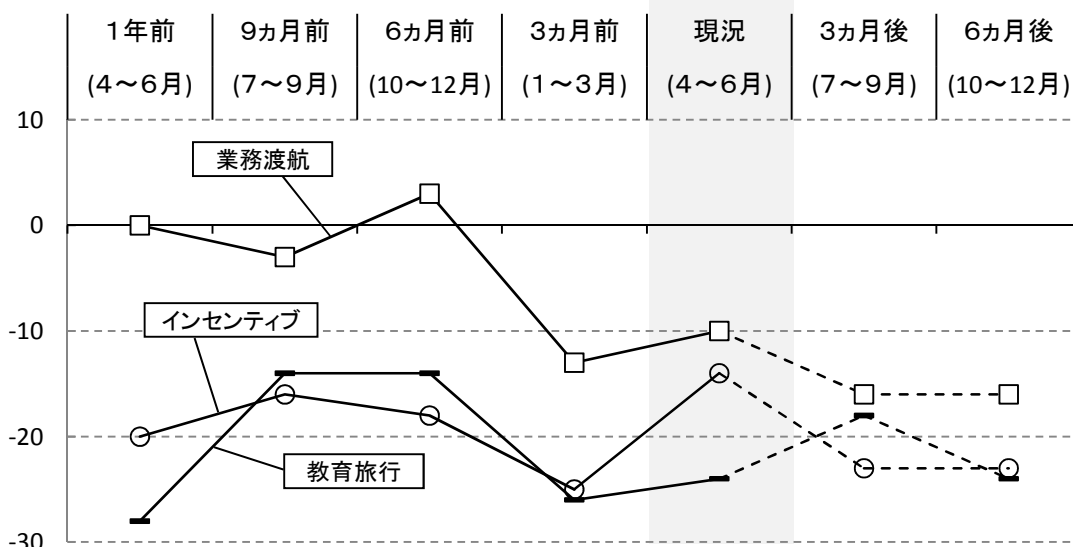
	1年前 (4～6月)	9ヵ月前 (7～9月)	6ヵ月前 (10～12月)	3ヵ月前 (1～3月)	現況 (4～6月)	3ヵ月後 (7～9月)	6ヵ月後 (10～12月)
ハワイ	2	2	-7	0	0	-3	-11
アメリカ・カナダ	-19	-20	-30	-15	-21	-26	-25
ヨーロッパ	-5	-3	-10	-8	-6	-15	-19
オセアニア	-33	-30	-31	-28	-28	-32	-33
ミクロネシア	-46	-41	-28	-17	-33	-35	-39
アジア	9	17	14	14	19	4	0
中国	-41	-36	-31	-45	-43	-44	-47
韓国	-36	-25	-27	-35	-38	-45	-45

◆海外旅行の需要動向（団体旅行）

- ・ 現況は3ヵ月前（1～3月）と比べ、すべての客層で上昇しており、特に「インセンティブ」は+11ポイントと大幅な上昇が見られる。
- ・ 3ヵ月後（7～9月）は、「インセンティブ」（-9ポイント）、「業務渡航」（-6ポイント）で低下の見込みだが、「教育旅行」は+6ポイント上昇の見込み。

N:有効回答数
(N=231)

(単位: D I)



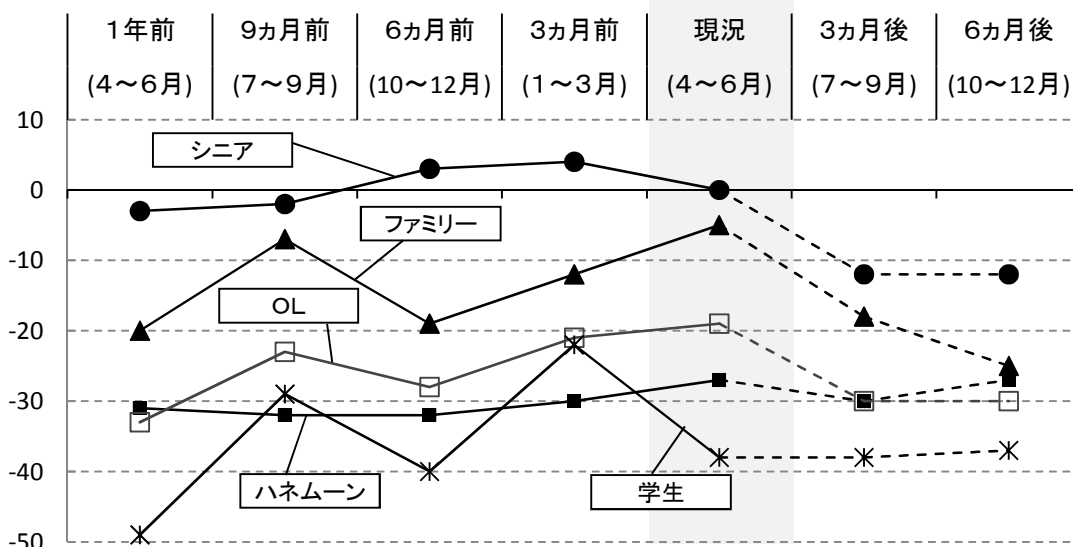
	1年前 (4～6月)	9ヵ月前 (7～9月)	6ヵ月前 (10～12月)	3ヵ月前 (1～3月)	現況 (4～6月)	3ヵ月後 (7～9月)	6ヵ月後 (10～12月)
インセンティブ	-20	-16	-18	-25	-14	-23	-23
業務渡航	0	-3	3	-13	-10	-16	-16
教育旅行	-28	-14	-14	-26	-24	-18	-24

◆海外旅行の需要動向（個人旅行）

- ・ 現況は3ヵ月前（1～3月）と比べて「ハネムーン」「ファミリー」「OL」が上昇しており、特に「ファミリー」は+7ポイントと大きく上昇した。一方、「学生」が-16ポイント低下しているが、前年同時期と比べると+11ポイント上昇している。
- ・ 3ヵ月後（7～9月）は、「学生」を除く全ての客層で低下が見込まれる。特に大きく低下が見込まれるのは「ファミリー」（-13ポイント）、「シニア」（-12ポイント）、「OL」（-11ポイント）。

N:有効回答数
(N=231)

(単位: D I)



	1年前 (4～6月)	9ヵ月前 (7～9月)	6ヵ月前 (10～12月)	3ヵ月前 (1～3月)	現況 (4～6月)	3ヵ月後 (7～9月)	6ヵ月後 (10～12月)
ハネムーン	-31	-32	-32	-30	-27	-30	-27
ファミリー	-20	-7	-19	-12	-5	-18	-25
OL	-33	-23	-28	-21	-19	-30	-30
学生	-49	-29	-40	-22	-38	-38	-37
シニア (60歳以上)	-3	-2	3	4	0	-12	-12

国内旅行全般の業況について

GWの10連休により2年ぶりにプラス圏に回復し、業況・客数ともにプラス圏となった。
「第1種」「第2種」はマイナス圏からプラス圏に上昇したが、「第3種」は大きく低下した。

総合

国内旅行全般の業況は、3ヵ月前（1～3月）から+10ポイント上昇したが、3ヵ月後（7～9月）の見通しではマイナス圏に低下する見込み。

客数についてもプラス圏の水準。

種別の業況では「第1種」（+14ポイント）、「第2種」（+16ポイント）は上昇、対して「第3種」（-18ポイント）は低下した。

現況（4～6月）は好調。この2年間で最も高いDI値となった。

国内旅行全般は3ヵ月前（1～3月）より+10ポイント上昇し、プラス4。客数はプラス9。

- ・シニア層の需要が全体的に好調。単価も上昇気味である。（第1種）
- ・沖縄、北海道、東京ディズニーランド、USJへの予約が多く夏休みにも期待したい。（第1種）
- ・GWの休みが長く各方面好調であった。夏旅の受注状況は平年並みに留まっている。インセンティブ旅行企画が平年より多い。（第1種）

3ヵ月後（7～9月）は、GWの反動から大幅に低下の見込み。

国内旅行全般の3ヵ月後（7～9月）は-18ポイント低下しマイナス14。6ヵ月後（10～12月）は+8ポイント上昇しマイナス6。

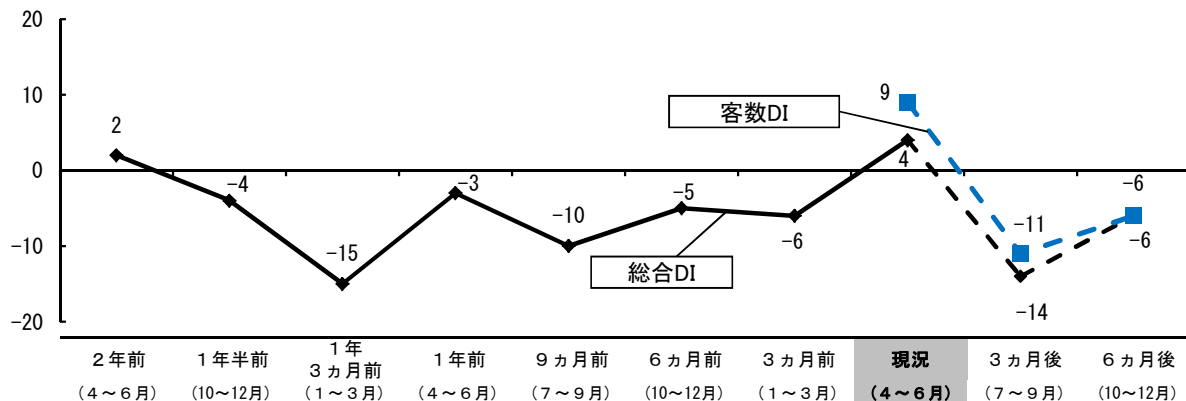
客数の3ヵ月後（7～9月）は-20ポイント低下しマイナス11。6ヵ月後（10～12月）は+5ポイント上昇しマイナス6。

- ・個人手配が多いのか、申込みが少ない。（第3種）
- ・高額商品を求めるお客様と価格志向のお客様の二極化がある。またネットのホテル予約サイトと比較しながら店頭相談に来られる方もあり、厳しい目線で旅行会社を選ばれている。（第1種）
- ・夏期のファミリー層の旅行申し込みが、ゴールデンウィークの影響からか、例年より動きが鈍く感じられる。（第1種）
- ・OTAの台頭で、交通手段と宿泊のみというようなシンプルな依頼は今後ますます減っていく見込み。（第1種）

国内DI値【総合+客数】

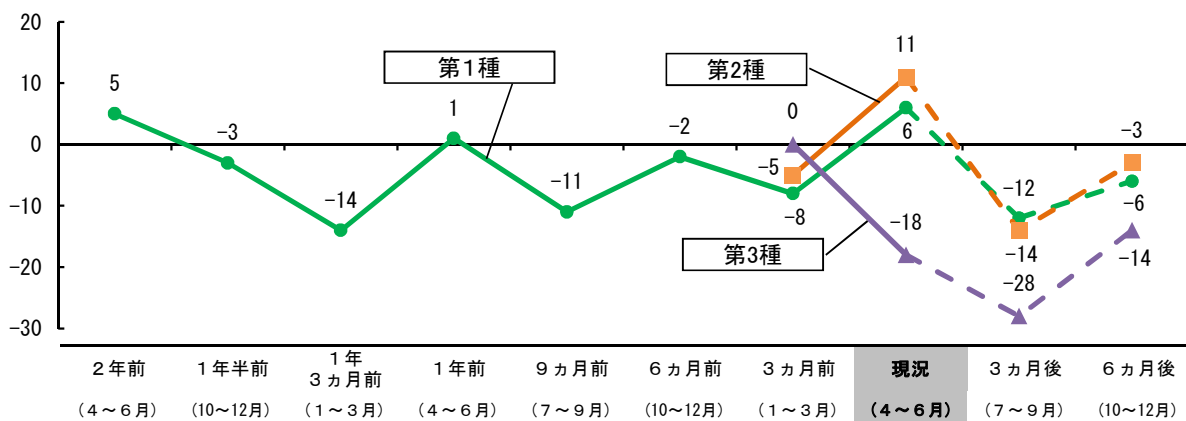
(N=196)

(単位：DI)



※「客数DI」は、今回調査から新しく聴取

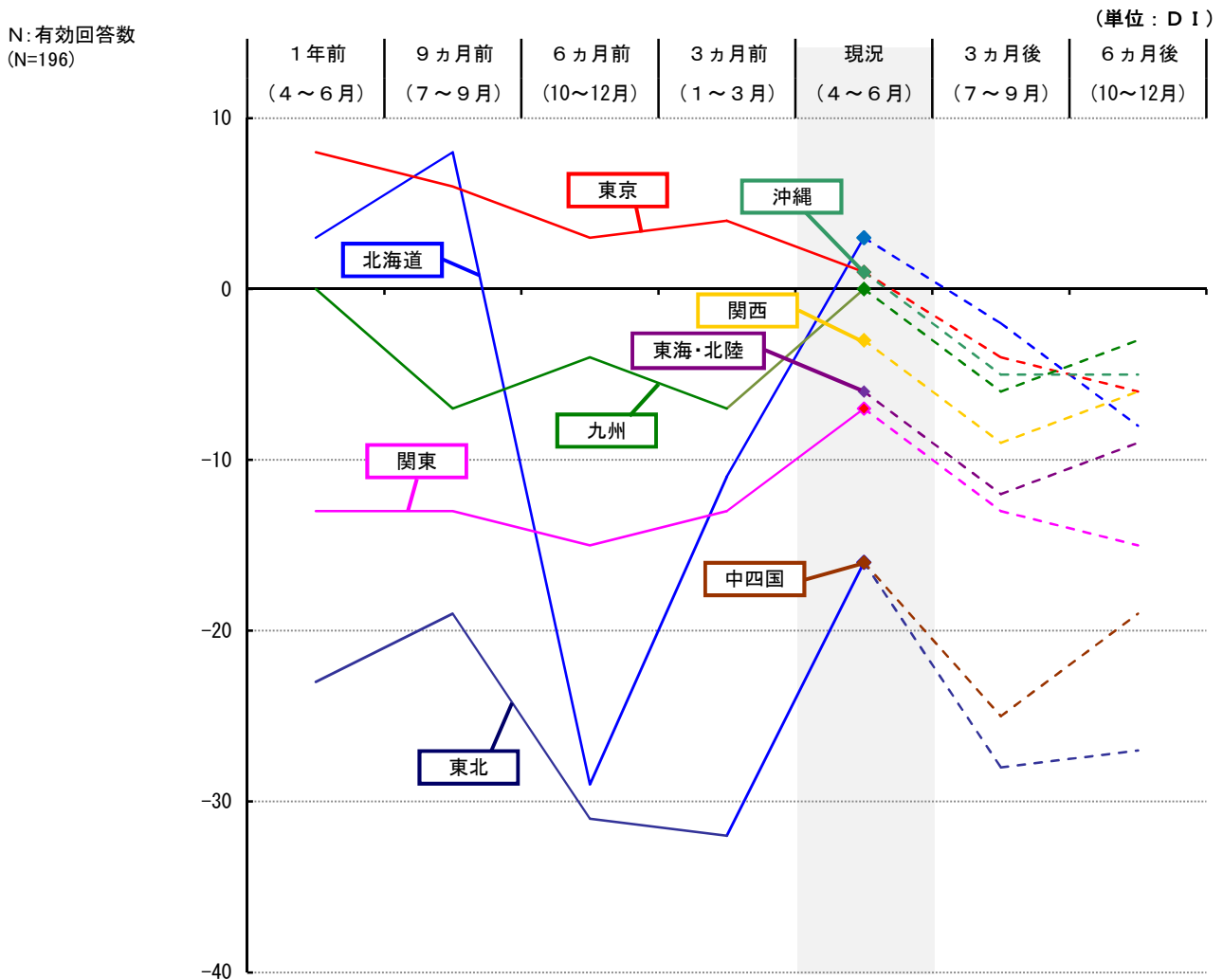
種別総合DI値



※「第2種」「第3種」は、2019年3月調査から分計したため、以前のデータなし

◆国内旅行の需要動向（方面別）

- ・ 現況は3カ月前（1～3月）に比べ、「東北」（+16ポイント）、「北海道」（+14ポイント）など、上昇した方面が多い。
「東京」は-3ポイント低下したものの、プラス圏を維持している。
- ・ 3カ月後（7～9月）はすべての地域で低下が見込まれ、特に「東北」が-12ポイントと大きく低下する見込み。



(単位:DI)

	1年前 (4~6月)	9カ月前 (7~9月)	6カ月前 (10~12月)	3カ月前 (1~3月)	現況 (4~6月)	3カ月後 (7~9月)	6カ月後 (10~12月)
北海道	3	8	-29	-11	3	-2	-8
東北	-23	-19	-31	-32	-16	-28	-27
関東	-13	-13	-15	-13	-7	-13	-15
東京 (TDRを含む)	8	6	3	4	1	-4	-6
東海・北陸	-	-	-	-	-6	-12	-9
関西	-	-	-	-	-3	-9	-6
中四国	-	-	-	-	-16	-25	-19
九州	0	-7	-4	-7	0	-6	-3
沖縄	-	-	-	-	1	-5	-5

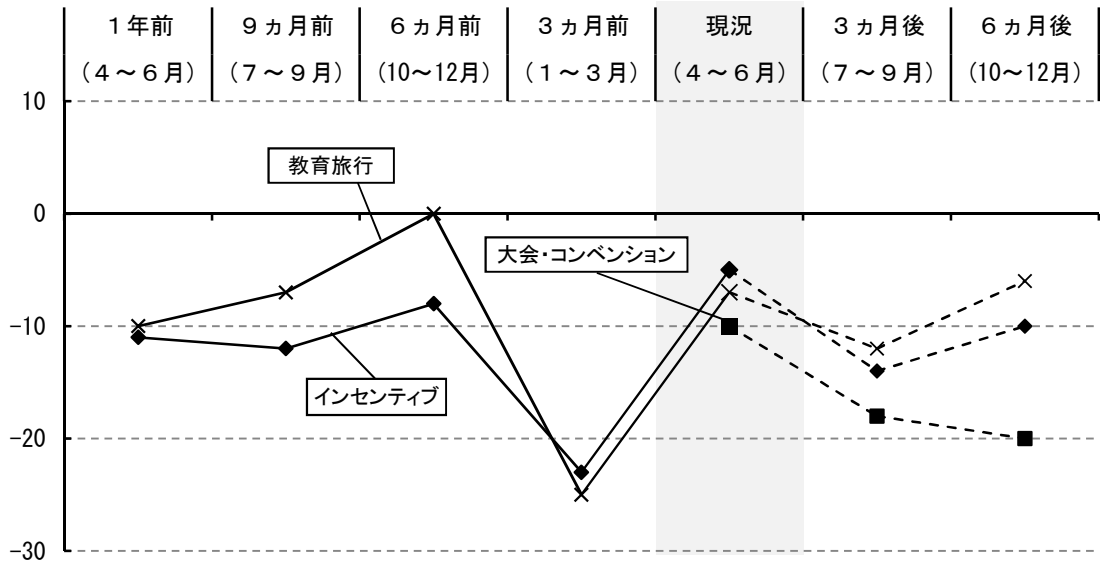
※「東海・北陸」「関西」「中四国」「沖縄」は、今回調査で聴取方法を変更したため、以前のデータなし

◆国内旅行の需要動向（団体旅行）

- ・ 現況は3ヵ月前（1～3月）に比べ、「インセンティブ」「教育旅行」がそれぞれ+18ポイント上昇し、前回の落ち込みから回復した。
- ・ 3ヵ月後（7～9月）は全ての客層で低下が見込まれるが、6ヵ月後（10～12月）は「インセンティブ」「教育旅行」で回復の見込み。

（単位：D I）

N:有効回答数
(N=196)



	1年前 (4～6月)	9ヵ月前 (7～9月)	6ヵ月前 (10～12月)	3ヵ月前 (1～3月)	現況 (4～6月)	3ヵ月後 (7～9月)	6ヵ月後 (10～12月)
インセンティブ	-11	-12	-8	-23	-5	-14	-10
大会・コンベンション	-	-	-	-	-10	-18	-20
教育旅行	-10	-7	0	-25	-7	-12	-6

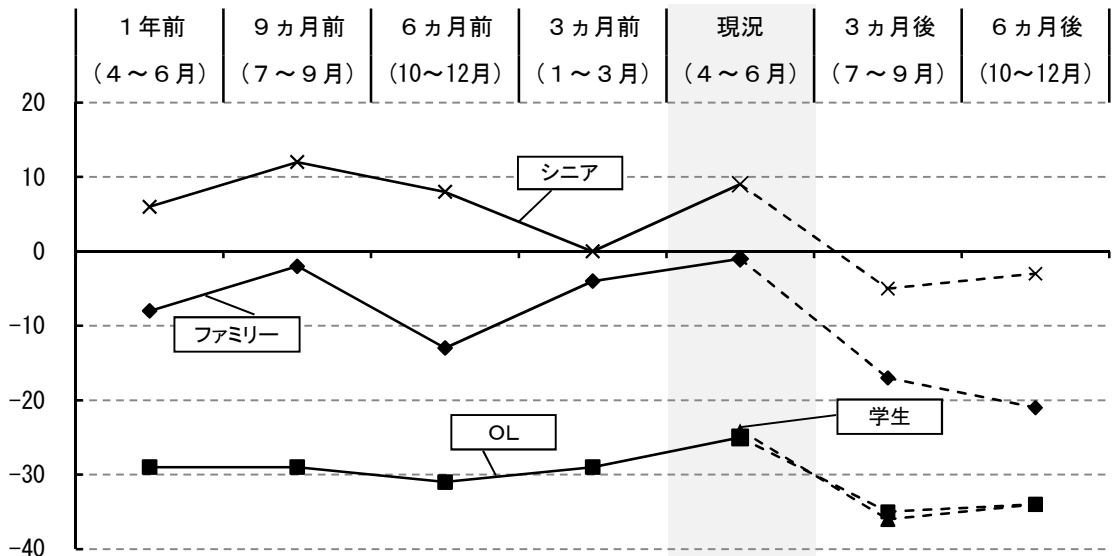
※「大会・コンベンション」は、今回調査から新しく聴取

◆国内旅行の需要動向（個人旅行）

- ・ 現況は3ヵ月前（1～3月）に比べ、全ての客層で上昇した。特に「シニア」は+9ポイントで、高い水準となった。
- ・ 3ヵ月後（7～9月）は、すべての客層で低下の見込み。特に「ファミリー」（-16ポイント）、「シニア」（-14ポイント）が目立つ。

（単位：D I）

N:有効回答数
(N=196)



	1年前 (4～6月)	9ヵ月前 (7～9月)	6ヵ月前 (10～12月)	3ヵ月前 (1～3月)	現況 (4～6月)	3ヵ月後 (7～9月)	6ヵ月後 (10～12月)
ファミリー	-8	-2	-13	-4	-1	-17	-21
OL	-29	-29	-31	-29	-25	-35	-34
学生	-	-	-	-	-24	-36	-34
シニア (60歳以上)	6	12	8	0	9	-5	-3

※「学生」は、今回調査から新しく聴取

■訪日旅行全般の業況について

ゆるやかな低下傾向が続いていたが、現況(4~6月)の業況は1年半ぶりに上昇し、客数ともにプラス圏となった。
全ての種別で上昇するも、「第3種」はマイナス圏から抜け出せなかった。

総合

訪日旅行全般の業況は3ヵ月前(1~3月)から+9ポイント上昇しプラス圏に回復。

客数についてもプラス圏となり、業況とほぼ差がない結果となった。

種別の業況では全ての業種で上昇傾向にあり、特に第1種が+10ポイント上昇し、前回調査から大きく回復している。

現況(4~6月)は多くの項目で上昇傾向。

訪日旅行全般は3ヵ月前(1~3月)より+9ポイント上昇しプラス5。客数はプラス6。

- ・東京・関西は引き続き好調、ホテル仕入れなども以前よりも取りやすくなっている。(第1種)
- ・特に欧米からはFIT化が顕著に進んでいる。(第1種)
- ・ベトナムからの訪日団体客が増加。(第1種)
- ・中国からの訪日客は増えているが、団体客は減ってきている。(第3種)

3ヵ月後(7~9月)はマイナス圏まで低下する見通しだが、客数については現在の水準を保つ見込み。

訪日旅行全般の3ヵ月後(7~9月)は、-7ポイント低下しマイナス2。6ヵ月後(10~12月)は-1ポイント低下しマイナス3。

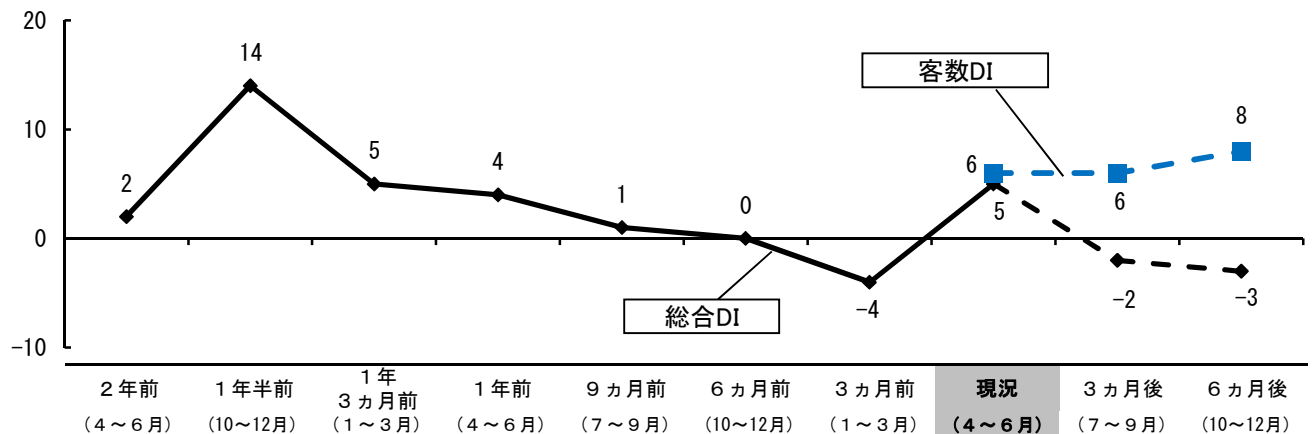
客数の3ヵ月後(7~9月)は横ばい。6ヵ月後(10~12月)は+2ポイント上昇しプラス8。

- ・以前のように買い物がメインではなく、FITで各々多様な目的での訪日旅行が増えていると感じる。(第2種)
- ・訪日目的が明確であり、目的を達成できる手配が行えるか否かが厳しく求められる。(第1種)
- ・多くの団体がFITにシフトしていると感じる。(第3種)

訪日DI値【総合+客数】

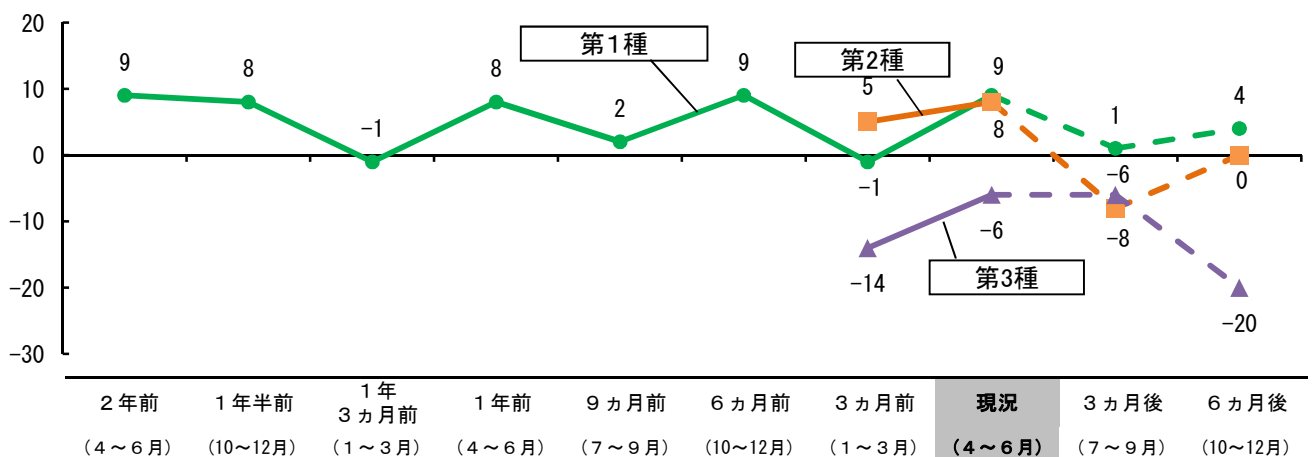
(N=133)

(単位：DI)



※「客数DI」は、今回調査から新しく聴取

種別総合DI値

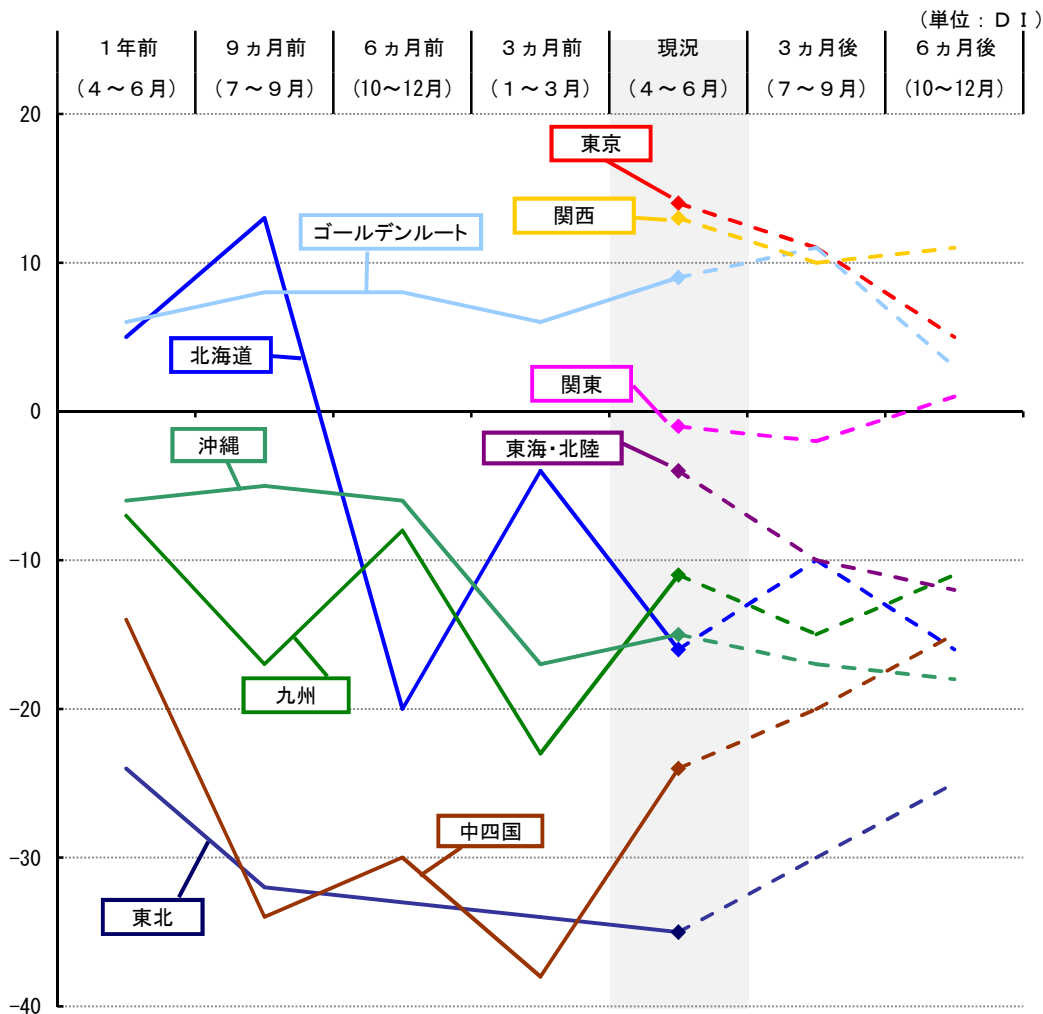


※「第2種」「第3種」は、2019年3月調査から分計したため、以前のデータなし

◆訪日旅行の需要動向（方面別）

- ・ 現況は3カ月前（1～3月）に比べて「中四国」が+14ポイント、「九州」が+12ポイント上昇した。
一方、「北海道」については-12ポイント低下し、前年同時期と比較しても大きく低下している。
- ・ 3カ月後（7～9月）は「北海道」（+6ポイント）、「東北」（+5ポイント）などが上昇の見込み。

N:有効回答数
(N=133)



(単位：D I)

	1年前 (4～6月)	9カ月前 (7～9月)	6カ月前 (10～12月)	3カ月前 (1～3月)	現況 (4～6月)	3カ月後 (7～9月)	6カ月後 (10～12月)
北海道	5	13	-20	-4	-16	-10	-16
東北	-24	-32	-33	-34	-35	-30	-25
関東	-	-	-	-	-1	-2	1
東京(TDR含む)	-	-	-	-	14	11	5
東海・北陸	-	-	-	-	-4	-10	-12
関西	-	-	-	-	13	10	11
中四国	-14	-34	-30	-38	-24	-20	-15
九州	-7	-17	-8	-23	-11	-15	-11
沖縄	-6	-5	-6	-17	-15	-17	-18
ゴールデンルート(関東⇄関西)	6	8	8	6	9	11	3

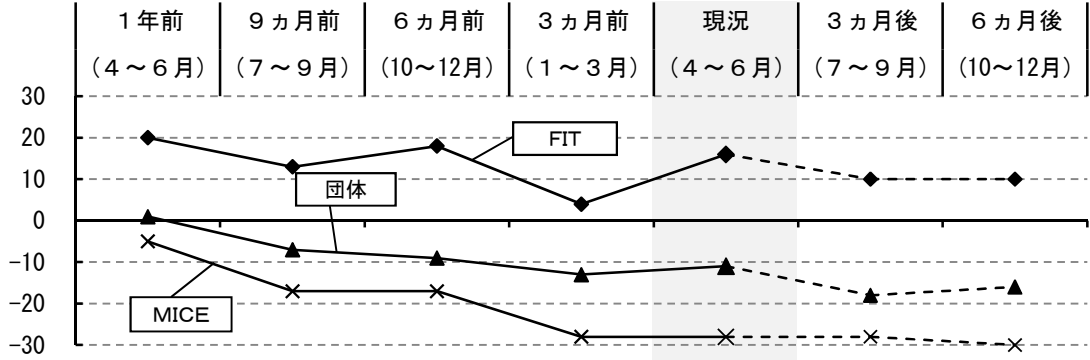
※「関東」「東京(TDR含む)」「東海・北陸」「関西」は、今回調査で聴取方法を変更したため、以前のデータなし

◆訪日旅行の需要動向（顧客層別）

- ・ 現況は3ヵ月前(1～3月)に比べ上昇・横ばいの傾向で、特に「FIT」は+12ポイント上昇し、高水準。
前年同時期と比べて、「MICE」（-23ポイント）、「団体」（-12ポイント）は大幅な低下。
- ・ 3ヵ月後（7～9月）は全ての客層で低下・横ばいの見込みだが、「FIT」はプラス圏を維持する見込み。

N:有効回答数
(N=133)

(単位: D I)



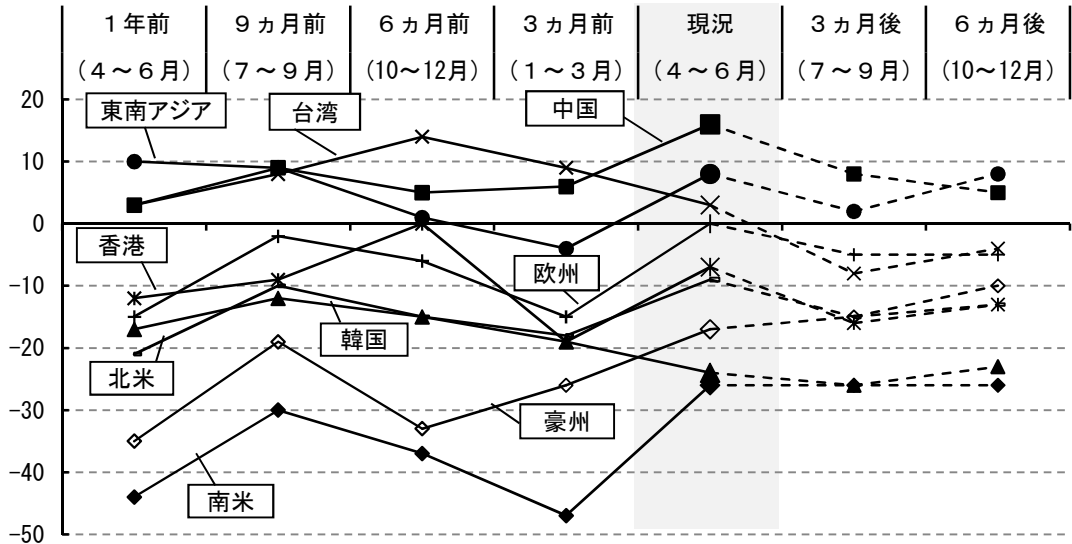
	1年前 (4～6月)	9ヵ月前 (7～9月)	6ヵ月前 (10～12月)	3ヵ月前 (1～3月)	現況 (4～6月)	3ヵ月後 (7～9月)	6ヵ月後 (10～12月)
FIT	20	13	18	4	16	10	10
団体	1	-7	-9	-13	-11	-18	-16
MICE	-5	-17	-17	-28	-28	-28	-30

◆訪日旅行の需要動向（国・地域別）

- ・ 現況は3ヵ月前(1～3月)に比べ、「南米」(+21ポイント)、「欧州」(+15ポイント)など、多くの地域で上昇し、前年同時期と比べても上昇している地域が多く見られる。
一方、台湾(-6ポイント)、韓国(-5ポイント)が低下した。
- ・ 3ヵ月後(7～9月)は、「豪州」「南米」以外の地域すべてで低下が見込まれる。

N:有効回答数
(N=133)

(単位: D I)



	1年前 (4～6月)	9ヵ月前 (7～9月)	6ヵ月前 (10～12月)	3ヵ月前 (1～3月)	現況 (4～6月)	3ヵ月後 (7～9月)	6ヵ月後 (10～12月)
中国	3	9	5	6	16	8	5
韓国	-17	-12	-15	-19	-24	-26	-23
台湾	3	8	14	9	3	-8	-4
香港	-12	-9	0	-19	-7	-16	-13
東南アジア	10	9	1	-4	8	2	8
欧州	-15	-2	-6	-15	0	-5	-5
北米	-21	-10	-15	-18	-9	-15	-13
南米	-44	-30	-37	-47	-26	-26	-26
豪州	-35	-19	-33	-26	-17	-15	-10